

Live together

共に生きる

～ 寄り添う想い あふれる笑顔 ～

トピック

- ・ 理事長あいさつ…………… 2
- ・ 介護のプチアドバイス… 3
- ・ 知って得する食の知識… 3
- ・ 施設だより…………… 4



私たちは、すべての利用者様が個人として尊重され、地域社会の中でその人らしい生活を送ることができる「共に生きる」社会の実現を目指し、運営する高齢者・障害者施設において、利用者様の立場に立った多様な福祉サービスを提供します。



かねはたからの初日の出



日立市社会福祉事業団

理事長 小川 春樹

新年明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、輝かし
い2025年の新春を健やかにお
迎えることと心からお喜び申し上
げます。

昨年は、新型コロナウイルスを
始めとする感染症対策を行いなが
らも、本事業団が管理運営する高
齢者施設などにおいて、各種行事
や、ボランティアを含めた地域と
の交流などを再開させることがで
き、徐々にではございますが、コ
ロナ禍前に近い日常生活を取り戻
すことができた一年でありました。

引き続き、安全と安心を最優先
に感染症対策等に取り組みながら、
利用者の皆様が自分らしく生き生
きとした生活を送ることができ
よう、サポートしてまいります。

さて、いよいよ団塊の世代が75
歳を迎える2025年が始まりま
した。いわゆる「2025年問題」

として、これまで以上のスピード
で全国的に高齢化が進展し、社会
保障費の負担増加や、労働者人口
の減少による国内市場の縮小、人
材不足の深刻化などが進み、これ
らの影響は、医療・福祉の分野に
も押し寄せるものと、懸念が高ま
っております。

このような厳しい社会環境の中、
本事業団におきましては、昭和50
年の設立から半世紀にわたり積み
上げてきた経験や実績を礎に、多
様化するニーズに適切に対応しな
がら、新しい時代にふさわしい持
続可能な介護サービス等の提供に
努め、地域福祉の増進に資する施
設運営を図ってまいります。

皆様には、引き続きましてのご
支援とご指導を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまし
て、健康で幸多き年となりますよ
う心からお祈り申し上げます。

メンタルヘルス自主研修 を開催しました

茨城産業保健総合支援センター
萩原由紀先生をお招きしてメンタ
ルヘルスに関する自主研修を開催
しました。

研修には約20名の職員が参加し、
セルフケアの考え方やストレスへ
の対処方法等について学びました。



メンタルヘルス自主研修の様子
(R 6.11.29)

萬春園利用者と油繩子小学校 児童が交流を深めました

9月から11月にかけて、萬春園
利用者と油繩子小学校6年生が、
交流会を行いました。

今回の交流会は、油繩子小学校
の課外授業の一環として始まった
もので、最終日の11月5日には、
児童による歌や楽器演奏があり、
利用者の皆様は子供たちの音楽を
大いに楽しんでいました。



油繩子小学校児童による合奏会
(R 6.11.5)

お気軽に施設見学会に！

施設を利用したい
方や福祉の仕事に興
味のある方など、お
気軽にお越しくださ
い。



▲詳細は

かねはた短期及びデイサー ビスセンターの空き情報

ホームページのお知
らせ欄に随時掲載し
ています。



事業団
ホームページ

食事時の注意点 

食事は介護される方にとっても、楽しい時間の一つです。次の6つのことに気を付けてリラックスして食事を摂るようにしましょう！

- ① **エプロンを使用**
→食べこぼしを防止します。
- ② **要介助者の隣に座る**
→同じ目線で誤嚥を防ぎます。
- ③ **食事の前に水分摂取**
→口内を潤し飲み込みやすくします。
- ④ **料理の温度に注意しながら、主・副・水分を交互にバランスよく介助**
- ⑤ **飲み込みを確認しながら、次の一口を運び、ご本人のペースを心掛ける**
 - ✓ ティースプーンに軽く一杯が適量の目安
 - ✓ 顎が下がって、下向きになると誤嚥しやすい
 - ✓ スプーンは下から差し出すように
 - ✓ スプーンを口の奥まで入れないように注意
 - ✓ 正しい姿勢で食べているか確認
- ⑥ **摂取量を確認**
→健康状態を把握する上で重要です。



冬でも注意したい高齢者の脱水症!!

夏の脱水症が命の危険を伴う可能性が高いことは広く知られていますが、冬も脱水症のリスクが潜んでいます。暖房器具を使用した室内では、空気が乾燥し、自覚がないまま皮膚や粘膜の乾燥が起こりやすくなります。

また、暖かい室内と温度の低い場所との行き来による急な血圧の変化で起こる「ヒートショック」が脳梗塞や心筋梗塞の発症率を高めます。

冬の脱水症を防ぐポイントは、室内の加湿とこまめな水分補給です。

●水分補給のタイミング

事業団施設では、毎回の食事以外にも、就寝前や起床後、入浴前後の水分補給を促し、脱水症対策を行っています。体を冷やさないよう体温に近い温かい飲み物を提供しよう心がけています。



スピーチロック研修に参加しました

大みかけやき荘 生活支援員 伊藤 正弥

9月26日、茨城県社会福祉協議会主催のスピーチロック研修に参加しました。スピーチロックは三大拘束の一つですが、他の二つは物や薬を使用することに対し、スピーチロックは言葉の拘束と言われ、誰もが誰に対しても行うことができってしまう特徴があります。

起こる原因として人員不足・業務過多、連携不足などがあげられます。対策として、障害の状態や年齢など、利用者個人の状態に合わせた日課づくりをすることと、

職員自身が言葉の言い換えや表現について意識するトレーニングや研修をすることが必要になると講師より話がありました。

日々の会話や発言の中で、利用者の皆様が不快に思わない言葉遣いに気を付け、業務をしていきたいと思えます。

スピーチロックを使わないようにしましょう



ハッピーリレー

職員が日頃の生活の中で感じていることなどをお伝えします。

ランニングでリフレッシュ

かねはた短期入所施設 介護職員 渡邊 真弘

私は、気分転換にランニングをしている。特に走る距離は決めず、日立方面や、大甕方面に行ったりとその日の気分でなんとなく走ることが日課になっている。そもそも走るきっかけは、子供の頃父親に、運動公園に連れて行かれ走らされたことで、最初は嫌々始まり、普通ならやめていただろう。

でも、昔父親と一緒に走ってくれたおかげで、私は今、ランニングを楽しみながら継続して行うことができお

り、きっかけをくれた父親に感謝している。

今後はいろいろなマラソン大会に出場したり、フルマラソンもいずれ挑戦したいと考えている。それまで少しずつ体力をつけて、ストレスを溜めず、リフレッシュな気持ちでランニングを継続していきたい。



施設だより

— 各施設で行われた行事やイベントをご紹介します —

萬春園 介護を必要とする高齢者が暮らす施設です。



施設情報

年末恒例の餅つき

年の瀬に恒例の餅つきを行いました。

臼と杵を使い、蒸しあがったもち米の香りとともに、職員が練ったあと、利用者様にもついていただきました。「ヨイショ！」の掛け声とともに、迫力のある餅をつく音が響き、「昔はどこの家でもやったよね」「餅つきをすると、元気が出るね」などの懐かしむ声が聞かれました。

つきあがった餅を丸めて鏡餅にする際に、「柔らかくて気持ちいい」「あったかいね」と会話しながら、立派なお鏡が完成しました。(村田)



利用者様も参加した餅つき



たくさん食べたよ！

大みかけやき荘 知的障害者が暮らす施設です。



施設情報

さつまいもで満腹

例年より暖かい11月の晴天の下、野外昼食会を行いました。

今回も当施設の畑で育てたさつまいもを収穫し、午前中は焼き芋を、昼食はさつまいもを使ったサラダやムースを、おやつはふかし芋を食べ、さつまいも尽くしの一日となりました。

色付き始めたけやきやツツジに囲まれ、さつまいもを焼く炭火の音を聞き、暖かさを肌で感じながら、焼きたての甘いさつまいもを味わい、季節を感じることができました。

今後も、利用者様の楽しみになる支援ができるように努めていきます。(向井)

はまぎく荘デイサービスセンター



施設情報

冬の楽しみ

寒い冬の間、ゆっくりのんびりと余暇時間を過ごすことの多いはまぎく荘です。今回ご紹介するのは、季節の塗り絵と折り紙の活動です。

塗り絵は、利用者様に馴染みのある昔ながらの外遊びの風景や、伝統行事にちなんだものを選んでいきます。「私が着ていた着物の色に塗ってみたよ」など、ご自身の幼い頃に思いを馳せ、皆でおしゃべりをしながら色塗りを楽しんでいます。

季節の折り紙は、できた作品をフロアの入り口に飾るなどしており、他の皆様にも見ていただくことで、その時季をより一層楽しませてくれています。(大河原)



きれいに作ることができました！

かねはた老人ホーム

(かねはた共通)



施設情報

選手と共に

市民運動公園陸上競技場で行われたサッカーチームの水戸ホーリーホックの試合に、高齢者サポーターとして招待されました。

始めは、生で見る迫力に圧倒され、固唾をのんで見守っていましたが、推しの選手が前に出て突破すると、サポータータオルをふり、「前田選手行けー!」「そこ!シュートだ!」と声を張り上げ、選手と一つになって試合に臨んでいました。

帰路の車内では、「楽しかったね」「あそこ惜しかったね」など、利用者様同士で話が弾んでいました。(小野崎)



揃いのユニフォームで応援しました!



上手にできました!



かねはたデイサービスセンター

事始め

新年を迎え、毎年恒例の初釜と書初めを行いました。

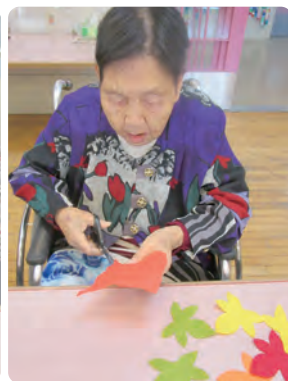
初釜は、「春の海」の琴の音色の中、職員が着物姿でお手前を行います。利用者様からは「点ててもらうお茶はおいしいね」「和菓子と抹茶は合うね」との声があり、笑顔が多く見られました。また、書初めでは、始めは気乗りしない利用者様も「やってみようかしら」と書いてくださり、出来栄えに納得できずに何度も書き直している姿も見られ、楽しまれました。今年も一年を通して、利用者様に楽しんでいただける行事を企画したいと思います。(西野)

かねはた短期入所施設 介護が必要な高齢者が一時的に利用(宿泊)する施設です。

文化祭作品作り

秋の文化祭では、利用者様が力を合わせて、作品を作りました。利用者様との会話の中で「秋といえば何ですか」と尋ねると、食欲の秋の次に、芸術の秋との答えが返ってきます。絵を描きながら「上手に描けたかな」、シーグラスアート作品を作りながら「この色で良いかな」と、利用者様同士で、楽しそうに会話を弾ませていました。

特にシーグラスアートには興味津々で、石の破片が、可愛い魚に変身する瞬間は、嬉しい表情を見せ、達成感に満ち溢れていたのがとても印象的でした。(金子)



力を合わせて作品をつくりました!



ボランティアの皆さん
いつもありがとうございます!

職員からの「利用者様のために
こんなのが欲しい」に対応してく
れるとても頼もしい存在です。

もともとは個別に活動していた
メンバーでしたが、桧山リーダー
を中心に、ミシンを使ってカパー
やマット等を作成してくれました。
また、不要な布地のウエスカット
等も行っていただき、とても助か
っています。

ボランティア紹介

さくらボランティアグループ

今回は萬春園で活躍くださって
いる複数のボランティアの中から、
さくらボランティアグループを紹
介します。

人事

理事

退任 星野 寿男(6月27日付)
新任 佐々木栄一(9月13日付)
評議員 石川 清久(1月27日付)

退職

かねはた短期入所施設 佐々木いづみ(12月31日付)
かねはたデイサービスセンター 高野 智恵(11月30日付)
大みかけやき荘 内山 幸恵(10月31日付)

採用

万春園 看護職員 神保 貴邦(9月1日付)
介護職員 相馬 美香(1月1日付)

おめでとつございます

永年勤続表彰(20年)
小塚 早苗(かねはた短期入所施設)
宇佐美圭祐()
全国社会福祉協議会会長表彰
川崎 則雄(はまぎく荘デイサービスセンター)
全国社会福祉事業団協議会表彰
宇佐美圭祐(かねはた短期入所施設)
全国老人福祉施設協議会表彰(20年)
佐藤 明美(萬春園)
全国老人福祉施設協議会表彰(15年)
千賀 洋美(萬春園)
青柳由美子()
星 はるみ()
小又 雅子(かねはた老人ホーム)
小野崎尚美()

社会福祉事業功労者に対する知事表彰

井坂 恵子(大みかけやき荘)
青柳由美子(萬春園)
茨城県社会福祉協議会会長表彰
星 はるみ(萬春園)
加藤 昌子(かねはたデイサービスセンター)
小野崎尚美(かねはた老人ホーム)
草地 孝幸()
日立市社会福祉協議会会長表彰
埴 寛子(萬春園)
資格取得(介護福祉士)
鈴木 千晶(萬春園)
金子 友紀(かねはた短期入所施設)
大田 正枝()



永年勤続(20年)表彰のお二人と小川理事長

ご寄附ありがとつございます

寄附金
相鐵株式会社 様
物品寄附
ミドリ安全株式会社 様

新規採用職員紹介

①座右の銘 ②趣味 ③抱負



萬春園 看護職員
神保 貴邦

①逆転一発
②競馬
③一生懸命頑張ります。



萬春園 介護職員
相馬 美香

①やりたいこと思いっきり
②ゴルフ
③1日でも早く皆様の仲間入り
をさせていただきたいと思
います。
よろしくお願ひいたします。

ボランティア募集

各施設ではボランティアを募集しています。

お話相手・習字・音楽演奏・イベントスタッフ・環境整備など、
活動内容は様々です。興味のある方はぜひご連絡ください。

日立市社会福祉事業団(事務局) ☎0294-33-7271

萬春園 ☎0294-33-6331

かねはた老人ホーム ☎0294-25-6155

かねはた短期入所施設 ☎0294-25-6157

かねはたデイサービスセンター ☎0294-25-6158

大みかけやき荘 ☎0294-53-2331

はまぎく荘デイサービスセンター ☎0294-43-2616

編集後記

今年の冬は東北の一部では災害
級の大雪が予想されると報道に
ありました。こちらは関東ではあり
ますが、一層寒さが厳しく感じら
れるようです。

体調管理、冬の車の運転に皆様
どうぞお気をつけてお過ごしだ
さい。(吉川)

発行・編集/日立市社会福祉事業団
「共に生きる」編集委員会
年2回発行(8月、2月)

所在/〒316-0036 日立市鮎川町3-2-10(事務局)
TEL/0294-33-7271 FAX/0294-36-2065

ホームページ
https://www.hitachi-jigyoudan.com/
メールアドレス
hitachi-j@net1.jway.ne.jp

